

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域ぐるみで取り組む賢い患者になるための「患者学」
事業主体 (連絡先)	学校法人佐久学園 佐久大学 長野県佐久市岩村田 2384
事業区分	「(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業」
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,006,033 円 (うち支援金：1,504,000 円)

### 事業内容

佐久地域がさらに健康寿命を延ばすために、住民が主体的に健康を意識していけるような事業を展開する。

「患者学」をテーマとし、医療や病との関わり方、健康啓発を目的として以下の事業を実施した。

- ・市民向け公開講座の実施：全6回
- ・「医療を受けるときのガイドブック」の制作・配布  
：医療機関・薬局等に設置し配布



【公開講座の様子】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 公開講座には延べ764人が参加し、アンケートに回答していただいた約98%の人が「良い」と評価した。  
(アンケート回答者数514人)
- ② チラシを佐久と周辺市町村広域に配布したこと及び医療機関等にガイドブックを設置したことで、周知を図った。また、公開講座に「人から聞いて」参加した人が全回通して約18%おり、「患者学」が広まっていることが確認できた。
- ③ 本事業を進める上で、佐久医師会、佐久薬剤師会等に協力を依頼したところ、本学の事業への理解と協力が得られた。両機関から講師派遣等の実質的な参加があり、医療関係者にも「患者学」の周知と次年度以降に繋がる関係を築くことが出来た。

### 【目標・ねらい】

- ① 公開講座参加者数の増加
- ② 佐久地域に「佐久大学患者学」を周知・啓発
- ③ 関係機関との連携・協力

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

- ・公開講座参加者が目標より27%多かった。
- ・公開講座の満足者数が目標より25%多かった。
- ・関係機関と、より良い関係を築くことが出来た。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「患者学」をより身近なものにするため、公開講座の開催とともに、交流サロンである「秋桜サロン」を開設する。15～20人程度でのミニ講座を開催し、27年度に関心を持たれたテーマでの交流も可能とするほか、様々なテーマで多くの人々が利用できるように発展的なサロン運営とする。また、若い世代に訴求できるように、ネットでの情報発信を強化するほか、ガイドブックを改訂し、より幅広い世代に関心を持ってもらえるように配布する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある